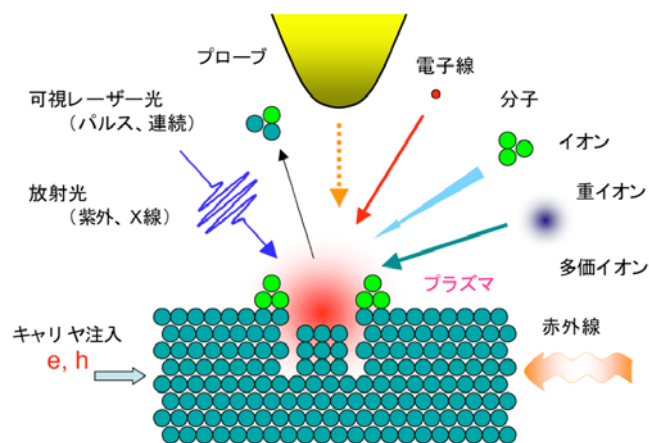


「励起ナノプロセスの基盤形成」 第2回研究会

日時：2007年 1月15日(月)
 場所：和歌山大学システム工学部 B101講義室
 〒640-8510 和歌山市栄谷930
 共催：和歌山大学オンリー・ワン創成プロジェクト
 「励起ナノプロセッシングによる物質機能の開拓」
 協賛：応用物理学会新領域「励起ナノプロセス」
 研究グループ



プログラム

1月15日(月)

司会：間瀬一彦 (物構研・KEK)

9:00- 9:05 はじめに

篠塚雄三 (和歌山大シス工)

9:05- 9:35 光電子の反跳効果：見落とされていた素過程

萱沼洋輔 (大阪府大工)

9:35-10:20 光誘起双安定欠陥EL2の選択共鳴ラマン分光

飛田 聡 (東工大理工)

休憩

司会：小森文夫 (東大物性研)

10:35-11:20 有機薄膜の時間分解顕微光電子分光

宗像利明 (阪大理)

11:20-12:05 ナノスケールに閉じ込められた光と電子の相互作用

齋木敏治 (慶大理工)

昼食

司会：前田康二 (東大工)

13:00-13:45 生体系物質における超高速過渡現象の時間・周波数2次元マッピング

武田 淳 (横浜国大工)

13:45-14:30 低加速STEMによる局所電界の可視化

藤田淳一 (筑波大数理物質)

14:30-15:00 ナノデバイスの励起脆弱性と制御 (仮題)

金山敏彦 (産総研)

休憩

15:20-16:50 特別セッション「フェムト秒レーザー照射による物質系の応答」

Pt.1 ディスカッションリーダー：村上浩一 (筑波大数理物質)

1) fsレーザー照射によるタンパク質の結晶化系 (20分)

細川陽一郎 (阪大工)

1-1) メカニズムの自由討論(10分)

1-2) 自由コメント(10分)

Pt.2 ディスカッションリーダー：北島正弘 (物材機構)

2) fsレーザー照射により物質系で起きる最近の興味ある現象について(レビュー：20分)

長谷宗明 (筑波大数理物質)

コメント：

2-1) 炭素系におけるコヒーレントフォノンとキャリアとの相互作用 (10分) 石岡邦江 (物材機構)

2-2) 有機材料におけるコヒーレントダイナミクス (10分)

武田 淳 (横浜国大工)

2-3) 自由コメント(10分)

16:50-17:00 まとめ

終了

注：引き続き16日(火)に和歌山大学にて応用物理学会関西支部セミナー「励起ナノプロセッシングの展望」が開催されます。詳しくは<http://annex.jsap.or.jp/excite/2007.1.16.kansai.excite.pdf>を参照願います。